

一日も早い災害復旧と
農地復興を目指して

Nougyou Nouson

Agriculture & Farm Village

いしのまきNN通信



(トヤケ森から望む石巻管内の風景)

「いしのまきNN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら農村振興班までご一報ください。今後ともよろしくお願いいたします。

試験栽培，はじめました。～challenge in 宮戸～

令和2年度，東部地方振興事務所 農業農村整備部では，宮戸地域で試験栽培を実施しています。この試験栽培は，災害復旧事業を実施したものの農道が狭小でトラクター等の通行が難しいほ場や，水供給に乏しく天水頼りの営農となるほ場での継続的な営農のあり方について検討するために行っています。

このようなほ場で営農を続けるためには，省力化・省コスト化・高収益等の工夫が必要となります。そのため，アスパラガス「採りっきり栽培®」・ミニトマトの「ソバージュ栽培®」を試験します。また，栽培が比較的容易で加工手段が幅広い「さつまいも」の栽培を試験します。



※アスパラガス「採りっきり栽培®」・ミニトマト「ソバージュ栽培®」は、「パイオニアエコサイエンス株式会社」の登録商標です。

▲令和2年6月5日撮影：定植を終えた試験ほ場 手前よりアスパラガス・さつまいも・ミニトマトを植えています。

定植までの作業

4月中旬から6月初旬にかけて、当部職員及び関係者等によりほ場準備及び定植を行いました。定植までの作業は以下の順で行っています。
 なお、当部YouTubeでも作業の流れを解説しております。併せてご覧ください。
 (右のQRコードからご覧いただけます。)



作業前のほ場



① 耕起&堆肥散布



まず、硬い土を耕耘機で起こします。
 そのうえで、堆肥散布します。

② 施肥



続けて、施肥を行います。

③ 畝立て



メジャーを引いて畝を上げると、まっすぐ畝を立てられます。

④ マルチ張り



畝を立てたら、マルチを張ります。



張ったマルチを、2人1組で埋めてゆきます。

⑤ 支柱立て (ミニトマト)



まずはドリルで穴を掘ります。



掘った穴に、支柱を挿してゆきます。
 ※きゅうり用の支柱を使用しています



ネットを掛けて支柱立ては完了です。

⑥ 定植



アスパラガス定植作業



ミニトマト定植作業 (実が赤・緑・黄・紫の4色になる苗を植えました)



さつまいも定植作業

農村地域復興再生基盤総合整備事業「上福田地区」の権利者会議を開催しました

→ 上福田地区権利者会議の様子…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、式辞の短縮などを行いました。



令和2年7月9日、美里東部土地改良区を会場として、農村地域復興再生基盤総合整備事業「上福田地区」の権利者会議を開催しました。権利者会議では、換地計画書が議決されました。今後は、今回議決された換地計画書に基づいて換地処分が行われることとなります。

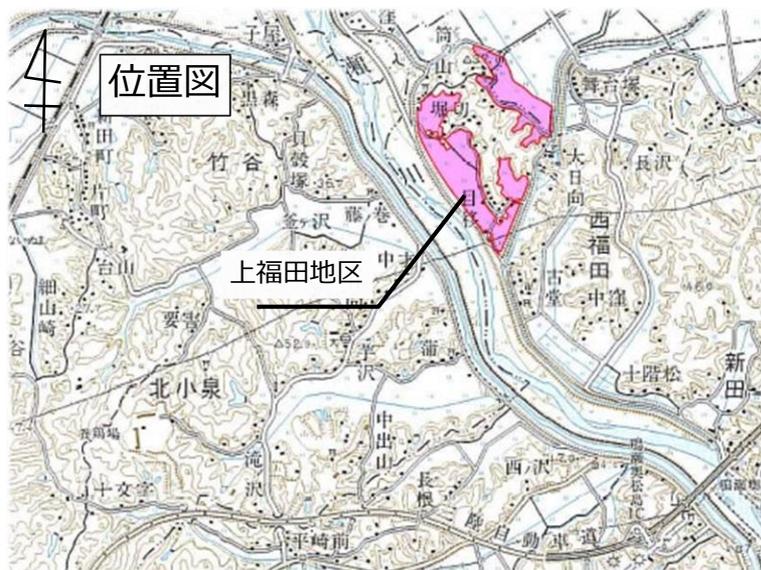
農村地域復興再生基盤総合整備事業「上福田地区」の概要

上福田地区

工期：H23年度～H31年度
 関係市町：東松島市・美里町
 受益面積：37.6ha



R元.09 上福田地区における稲刈り



従前

ほ場が未整備のため小区画・不整形で、道水路網においても未整備でした。用排水路は大部分が素掘水路で、道路も狭小のため耕地の汎用化など近代的営農に支障を来している状況でした。

平成23年度

農村地域復興再生基盤総合整備事業の採択

従前で問題となっていた阻害要因を解消し、近代的営農形態がとれるほ場条件に整備することを目的として事業が採択されました。事業では、大型機械の導入・水管理の合理化のため、区画の整理・用排水の分離・農道の整備・暗渠排水の整備により汎用耕地化を図りました。

奥松島地区・宮戸6分区での桃の摘果・袋掛け



▲桃の実（※親指大）

奥松島地域営農再開実証プロジェクト

東松島市・奥松島地区では、東日本大震災からの復旧・復興を目指し、「奥松島地域営農再開実証プロジェクト」がすすめられてきました。当プロジェクトの一環で、ほ場整備を行った水田の一部を転作果樹園として平成28年3月に桃の定植を行いました。桃は「まどか」70本と「くにか」70本に「あかつき」30本を加えた3種類・計170本で、「奥松島果樹生産組合いちじくの里」により栽培されています。昨年度は糖度15度を超える、みずみずしく甘い桃が収穫され、好評を博しました。

桃の摘果・袋掛け



▲袋掛け作業の様子

5月下旬になると、親指大の桃の実が沢山実ります。しかし、全ての実を同じ枝で成長させようとすると、実の重みに枝が負けてしまいます。そのため、間引きを行うことで成長させる実を選別する必要があります。そのための摘果作業と併せて、成長させる実を保護する袋掛け作業を行います。病害虫による被害から実を守るために、重要な作業となります。この袋掛けは、ひとつひとつ手作業で行っています。ひとつの木に半日以上かかる場合もある膨大な作業ですが、重要な作業であるため欠かせません。「奥松島果樹生産組合いちじくの里」では、この袋掛けのほか、施肥・消毒など手を掛けて丹念に栽培を行っています。奥松島の潮風と陽光を浴びてすくすくと育つ桃は、8月頃の収穫が見込まれています。

宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部（編集：農村振興班）

〒986-0850 石巻市あゆみ野五丁目7番地（宮城県石巻合同庁舎4階）

Tel 0225(95)1411（内）2631

Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.lg.jp

URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-ns/>